

事業概要

■ 安心・安全な走行に必要な施設

道路利用者が、安心して安全に走行するのに必要な施設の整備を実施しているのが、交通安全事業です。また、道路の線形が部分的に悪くて、事故が発生しやすい箇所や見通しの悪い区間などの解消や、通学路など歩行者や自転車が安心して通行できる歩道などの整備を実施しています。



歩行者を車両の追突などから守る防護柵



目的地へわかりやすく案内する道路標識



夜間の視認性を向上させる道路照明



走行範囲を表す区画線設置



渋滞解消などを図る右折レーン設置



安心して歩行できる空間を確保する歩道設置

代表的な事業 国道9号湯里舗装工事

■ 湯里登坂事故対策事業完了

この事業区間大田市温泉津町湯里は、死亡事故が連続して発生したことから、地元住民からなる大田市交通安全協議会が現地検討会を開催し、地元、自治体、警察、国が一体となって、対策内容を議論し、H21年4月末、対策事業が完了しました。

2007. 3. 20現在の写真



市道への右折車線の設置

位置図



カーブ区間は、中央分離帯、キャッツアイを設置



◆ 大田市長の声

国道9号は、通院、通勤等の日常生活をしていく上で、大切な道路。今回の事故対策では、地域住民の貴重なご意見をいただき、実施された事で、安全そして安心して通行できるようになりました。



はみ出し防止区画像(ゼブラ帯)、車線分離標を設置



◆ 地元の声

連続して起きた死亡事故は忘れることは出来無い。今回の事故対策には、地域住民も加わり、それをもとに改良事業が実施され、その後安全に通行できるようになった。感謝申し上げるとともに、今後も地域の強い声で後押ししていきたい。